



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和 7 年 6 月 2 0 日
道路局道路交通管理課
国土技術政策総合研究所

ETC2.0 プローブデータのオープン化に向け試行します ～調査協力者の公募について～

国土交通省では、ETC2.0 プローブデータを渋滞箇所の把握、生活道路の交通安全対策、災害時の通行実績把握等に活用しているところです。

このたび、ETC2.0 プローブデータのオープン化に向けた試行を行うこととし、国土技術政策総合研究所において、地方公共団体等が ETC2.0 プローブデータを利活用する際の課題を把握するため、「ETC2.0 プローブデータのオープン化に向けた基礎調査」を実施します。当該調査では、ETC2.0 プローブデータを集計・分析する地方公共団体等を調査協力者として公募いたしますので、お知らせします。

1. 調査内容等

別添資料「公募要領」のとおり

2. 募集期間

令和 7 年 6 月 2 0 日（金）から令和 7 年 8 月 2 9 日（金）まで

3. 応募方法

申請者は、各地方整備局等に応募内容について予め相談のうえ、申請書類一式を「4. 提出先」のメールアドレスに提出して下さい。

4. 提出先

国土交通省 国土技術政策総合研究所
道路交通研究部 高度道路交通システム研究室
E-mail : nil-itsd●mlit.go.jp

※メールアドレスは、●を@に変換して送信して下さい。

【問合せ先】

（ETC2.0 の施策に関すること）

道路局 道路交通管理課 高度道路交通システム推進室 柏、向山

TEL : 代表 03-5253-8111（内線 37432、37465）、直通 03-5253-8484

（公募内容に関すること）

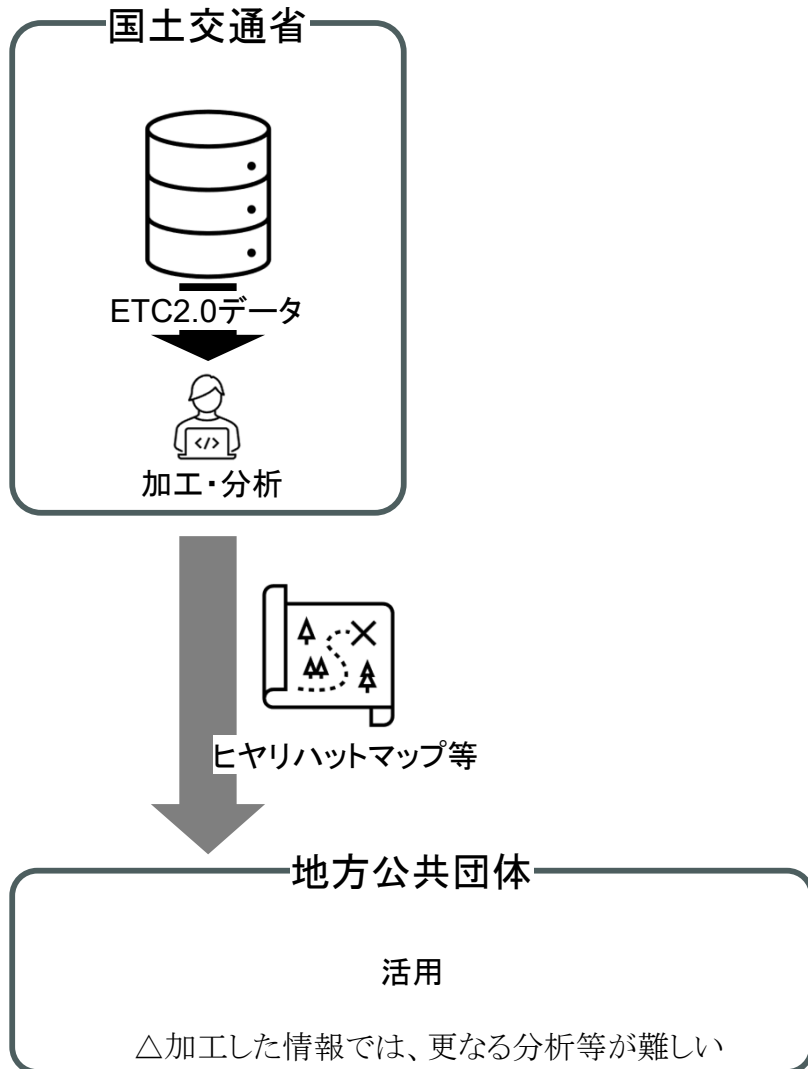
国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 高度道路交通システム研究室 鈴木

TEL : 029-864-7868

ETC2.0データのオープン化に向けた試行(交通安全対策の場合のイメージ)

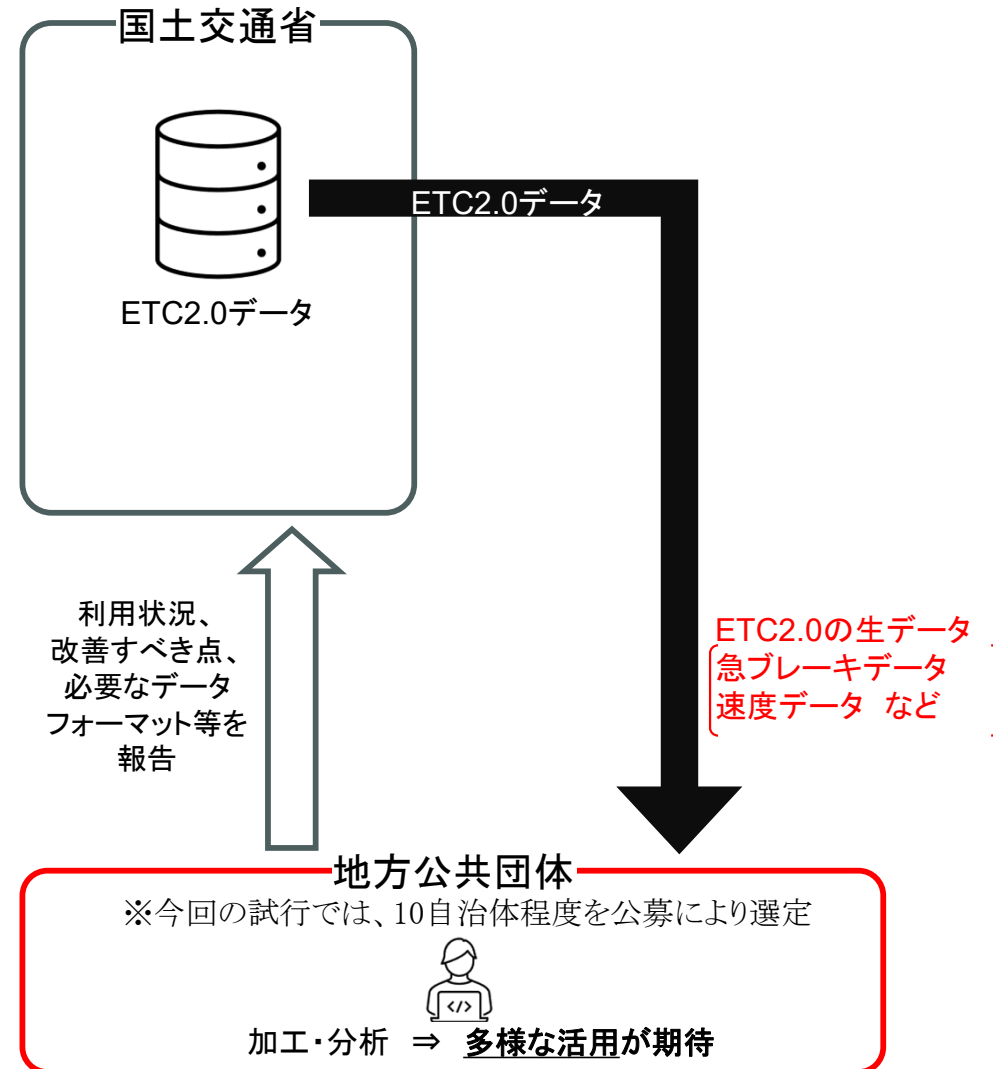
現状

- 国が加工した情報(ヒヤリハットマップ等)を地方公共団体に提供



今回(試行)

- 国が急ブレーキや速度等の生データを地方公共団体に提供。⇒地方公共団体において多様な活用が期待



⇒試行を踏まえ、地方公共団体等がETC2.0データをより活用しやすい環境(オープン化)を構築

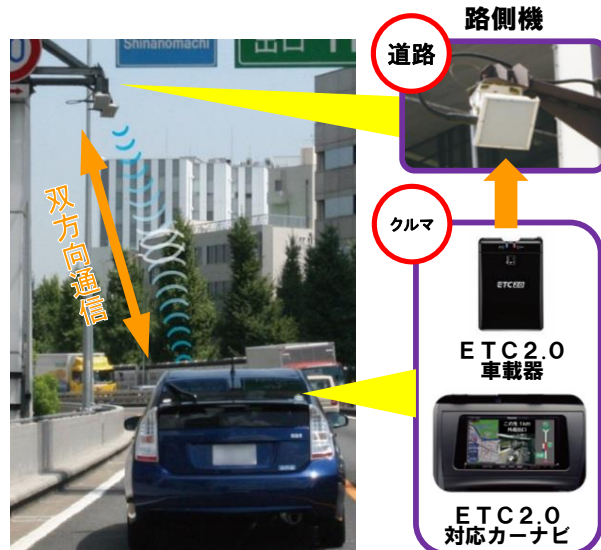
ETC 2.0の機能

これまでのETCと比べて、

- ・大量の情報の送受信が可能となる
- ・ICの出入り情報だけでなく、経路情報の把握が可能となる

など、格段と進化した機能を有しており、道路利用者はもちろん、道路政策に様々なメリットをもたらし、ITS推進に大きく寄与するシステム

データ収集

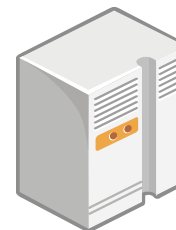


路側機(R6.4時点)
高速道路約1,800カ所
直轄国道約2,400カ所

車載器(R7.3月末時点)
約1,367万台

位置データ
加速度データ
車載器ID

データ作成 道路管理者



速度

経路

急ブレーキ

データ活用

渋滞対策

交通安全
対策

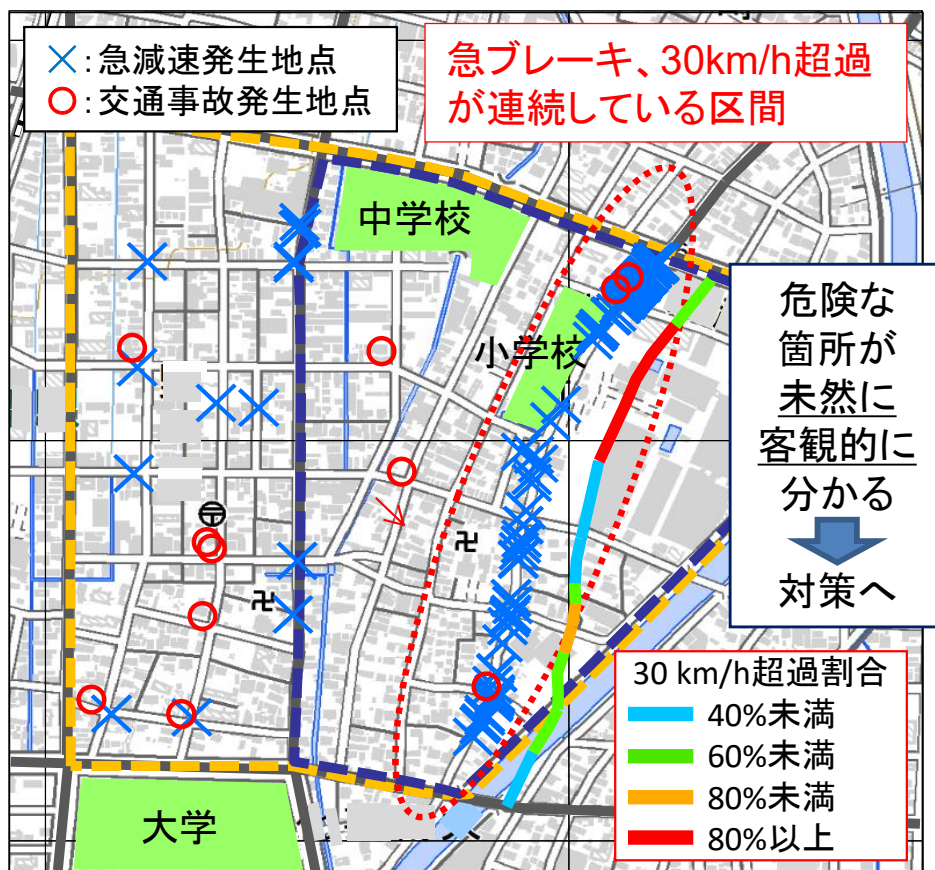
料金施策

物流支援

公共交通
支援

○ビッグデータの活用により潜在的な危険箇所を特定し、速度抑制や通過交通進入抑制の対策を実施

■ETC2.0のビッグデータの活用により
速度超過、急ブレーキ発生、抜け道等
潜在的な危険箇所を特定



■効果的、効率的な対策の立案・実施
【対策メニュー一例】

走行速度を抑制する



凸部(ハンプ)



狭さく



生活道路への進入を抑制



ライジングボラード

歩行者の空間を確保する



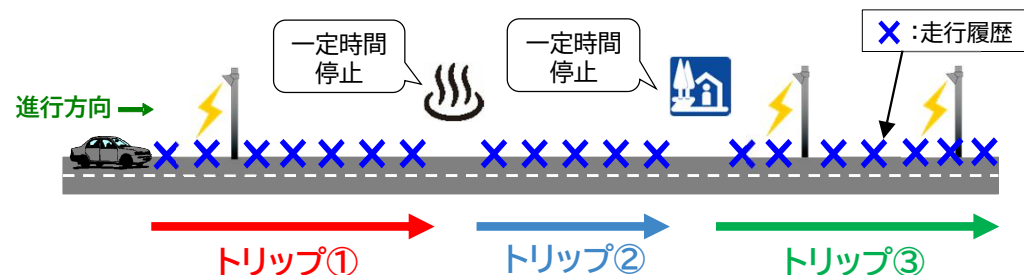
路肩のカラー舗装

ETC2.0データを活用した観光に資する分析

- ETC2.0データの活用により、立ち寄り箇所や周遊ルート、滞在時間等の分析が可能
- 自治体や有識者とも連携し、ETC2.0のデータをより詳細に分析することで、地域の観光施策の推進が可能
- 分析例として、休日における車での観光地等への立ち寄り状況を公表（R7.2.25報道発表※1）

<分析に使用したデータ:ETC2.0>

ETC2.0を搭載した車両の走行履歴データ等を路側機で収集し、一定時間停止した場合には、立ち寄り(着トリップ)と判定する



ETC2.0データから
走行履歴(ある車両が、いつ、どこを通ったか)等を把握

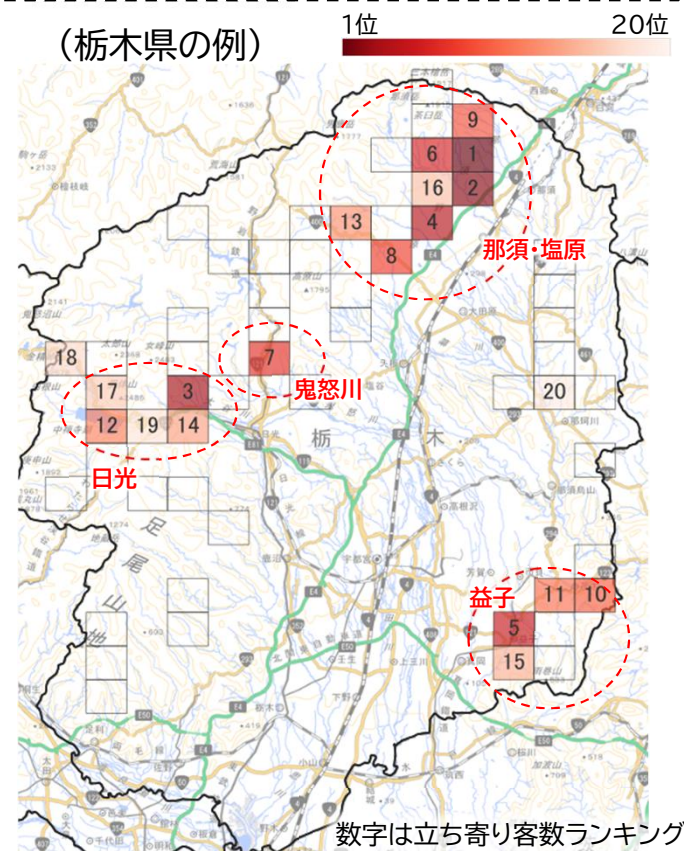
- 立ち寄り箇所や周遊ルート、滞在時間等の分析が可能
- これらのデータを基礎資料として、自治体等における地域の観光施策の立案に活用

<ETC2.0を活用した分析の例※1>

立ち寄り(着トリップ)数を集計し、立ち寄り客数ランキング※2を作成。

順位	メッシュ内の 休日立ち寄り客数 (人/日)
1	28,100
2	18,200
3	14,500
4	13,600
5	11,700
6	10,400
7	9,900
8	9,000
9	8,300
10	7,800
11	5,000
12	5,000
13	5,000
14	4,800
15	4,400
16	4,100
17	3,500
18	3,300
19	3,200
20	3,100

休日における車での
立ち寄り客数ランキング



数字は立ち寄り客数ランキング

1.5倍以上増加地域

※1 詳細はHP参考 https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001890.html

※2 全国ランキングを公表 <https://www.mlit.go.jp/road/traffic/shortvisit2024/map/ranking.pdf>